

グローバル COE 講演会報告書

大学院理学研究科 杉山 弘

研究集会名: グローバル COE 講演会

講演者: Byeang Hyeon Kim Ph.D., Department of Chemistry, Pohang University of Science and Technology (POSTECH), Korea

演 題: “Modified Nucleic Acid Systems for Biomedical Applications”

場 所: 京都大学理学研究科2号館第1講義室(120号室)

日 時: 2008年7月2日 15:00–17:00

参加者: 化学専攻 大学院学生、学部生、博士研究員、教員

参加者総数: 約 20 名

講演内容: 機能性人工核酸は、天然にはない機能を DNA や RNA のような核酸分子に導入でき、生体反応の効果的な制御や光による検出など幅広い応用の可能性を秘めている。講演者の Kim 教授は修飾核酸の合成を基礎として、人工 shRNA を使った細胞生物学への応用、一塩基多型(SNP)の検出方法の開発、DNA を足場にした発光材料への応用を行ない、数々の業績を上げられている。講演では、生体中への修飾 shRNA の導入方法と遺伝子発現の制御、DNA の適切な位置に発光分子のみを導入するだけで、一塩基の違いを見分けることができる分子ビーコンの開発の成果を詳細に発表して頂いた。今までにないユニークな研究で分子設計と実験結果の双方がかみ合った学術的かつ専門性の高い講演内容であった。研究分野が近いせいもあり学生達にとっても興味深く話を聞ける魅力的な講演内容であった。講演後は予定していた時間を超過する活発な質疑応答が行われ、学生からも熱心な質問がなされ、充実した講演となった。

